

B-4

いろあざ じんこう つく 色鮮やかな人工イクラを作ろう

天然のイクラはタンパク質からなる膜でできたカプセルですが、人工のイクラは

多糖類からなる膜でできています。実際に人工イクラを作り、できる原理を学ぼう！

【必要なもの】

アルギン酸ナトリウム、塩化カルシウム、水、容器、スポイト、絵具、茶こし

【溶液の作り方】

A液：アルギン酸ナトリウムを水に加え、溶けるまで混ぜる。

(A液には絵具を加え、色を付ける)

B液：塩化カルシウムを水に加え、溶けるまで混ぜる。

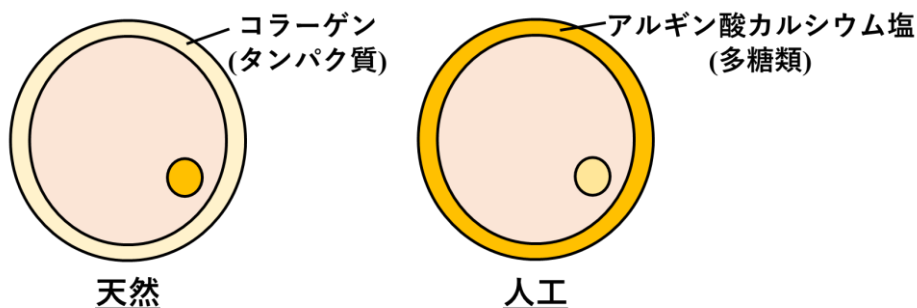
※ 今回は時間の都合上、溶液はあらかじめ作ってあります。

【人工イクラの作り方】

スポイトでA液を吸い、容器に入れたB液の上から1滴ずつゆっくりと落とします。

できた人工イクラを茶こしで回収しよう。

【天然イクラと人工イクラの違い】



アルギン酸ナトリウムがカルシウムと反応してゲルに変化する性質を利用します。